

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

2023年12月20日

2. 認定事業適応事業者の名称

扶桑薬品工業株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

2024年1月～2025年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

当社は、昨今の医薬品業界において、主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリーなど人工透析関連製商品および輸液などのより強固な浸透を図るとともに、後発医薬品の販売促進にも注力している。

その中で、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢などの様々な要因から、医薬品の安定供給が強く要請されている状況に対して、社会から信頼される企業でありつづけるため、安定供給や品質確保に一層留意する。また、人工腎臓用透析剤の安定供給や環境配慮目的の燃料転換により、新たな付加価値の創出と脱炭素取組を通じた環境への負荷低減を両立させていく。

この事業適応計画において、2023年度は茨城工場にて以下の取組を実施し、炭素生産性の改善を図った。

【茨城工場】

- ・薬剤製造ラインの導入
- ・ボイラー（8台/都市ガスへの燃転）の2023年度期初より通期稼働

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

茨城工場の炭素生産性は、2023年度を基準年度と比較し、-10.12%となった。

これは、設備導入に伴う生産体制が整わず、生産数が想定よりも微増に留まったことが要因である。しかし、当該製造品目については市場の需要が高いため、フル生産となった際には当初の計画を達成すると見込む。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

2023年度は経常利益を計上した。

(4) 実施した事業適応計画の内容

茨城工場にて薬剤製造ラインの導入（2024年1月稼働）を実施し、
カーボンニュートラル税制の適用を受けた。

併せて、ボイラー（8台/都市ガスへの燃転）の2023年度期初より通期稼働させた。